

**2024年度 水難学会 夏季研修会**

令和6年6月9日（日）9：00～12：00

東京海洋大学 越中島キャンパス 2号館 1F 2101教室

**【1】 スイミングスクールの安全管理と補助法から考える「うていまで教室」の運営**

一般社団法人 水難学会 理事

新西 道浩（日本スイミングクラブ協会近畿支部）

**【2】 今後の「うていまで」海外普及とその可能性について**

一般社団法人 水難学会 理事

大湊 佳宏（長岡工業高等専門学校）

## 【研修会 1】

### スイミングスクールの安全管理と補助法から考える「ういてまで教室」の運営

一般社団法人水難学会 理事

一般社団法人 日本スイミングクラブ協会近畿支部 新西 道浩

#### 1. 背景・目的

スイミングスクールの安全管理においては学校水泳現場よりも基準が厳しく設定されている。また、補助法においても近年の社会情勢(パワハラやセクハラ)により変化される傾向にあり、これらのことを参考にし、今後の「ういてまで教室」を考える。

#### 2. 方法

スイミングスクールで行われている安全管理方法や補助法を、なぜそのような方法で行うかという理由を加えながら、具体例を紹介する。

#### 3. 考察

水難学会の会員が今後このようなことを取り入れ、「ういてまで教室」行うことで発生する課題や導入による問題に関して、質疑応答を行いながら考える。

## 【研修会 2】

### 今後のういてまて海外普及とその可能性について【座談会】

一般社団法人水難学会 理事

長岡工業高等専門学校 大湊 佳宏

#### 1. 背景

水難学会で、子どもたちへのういてまて技術の指導並びにういてまて指導員養成に取り組んできた。更には、日本国内だけでなく、国外での溺死する子どもたちの救済にも目を向け、2012年の第1回東京大会をかわきりに、全10回の国際ワークショップを開催した。タイ、インドネシア、マレーシア、フィリピン、スリランカ、台湾など各国に水難学会の支部長を設け、普及活動が行われている。また、現地を訪れ指導員養成も複数回行ってきた。新型コロナウイルスの影響で2020年度～2022年度はオンラインでの国際ワークショップの開催を開催した。

#### 2. 課題

小生は、第4回の国際ワークショップ（2015年）から、当学会の国際事業に参加しております。今年度で10年目となります。国際事業で見聞きしてきた経験や、感じたことを会員の皆様と共有しながら、今後の課題やについて意見交換を出来れと考えております。

##### 課題1：国外普及事業を実現させるには…国外普及あり方

最近でもマレーシアからういてまて指導員講習会の開催のリクエストがありました。資金の問題、指導員の問題などがありお断りしているところです。需要はあるが、開催できないジレンマがあります。かつて国外に赴いて実施したういてまて指導員養成講習のおかげで、それぞれの国の工夫をもって普及が進んでいます。

##### 課題2：国外普及に関わるには

国外普及は、海外旅行ではありません。ですので、添乗員も付きません。英語は中学校レベルで構わない。未成年の学生も参加したことがあります。それよりも、大切なことが…

#### 3. 座談会スタイル : active participants

参加者の皆様には、気軽に意見を出し合えるように、近くにいる人とグループを編成したディスカッションスタイルの座談会での開催といたします。まずは、大湊が短く概要を話し課題を提示いたします、その後に皆様にご意見を伺うという形で進めたいと考えております。国外普及事業に前向きに貢献していただける皆様と当日お会いできることを楽しみにしております。